



モトショップ・イモトの店内。ファン垂涎の名車が並び、隅々に工具がひしめく



オーナーの井本一洋さん

MOTORCYCLE  
**モトショップ イモト**  
 広島市国泰寺町1丁目10-18  
 電話082-541-5491  
 定休日/毎週火曜日・第三日曜日  
 営業時間/8:30~18:30  
<http://www.ducati-msimoto.com>

開業時、「お前、何を考えているの？」と心配されたというが、今ではインターネットなどを通じて全国のファンから注文が舞い込んでいる。「ただ好きだけでやってきた」という井本さん。店には他に30代の若者が2人。彼らはかつての客。「究極の趣味を仕事にする幸せ」を語る井本さんは彼らの憧れでもあるようだ。(長島裕子)

### Shop.01



ラウンドと呼ばれるドゥカティの年代もののエンジン

# 究極の伊製バイク店

バイク界のフェラーリといわれるイタリアの名車、ドゥカティ。しかしこの店が異彩を放つのは単にドゥカティを売っているからではない。元々全国的にもそう多くない専門店の中でも、この店はあることか70〜80年代の車種に絞って扱っているのだ。店内には数百万円もするという名車が常時25台ほど並び、発売当時の姿に復元したものや、所有者の好みに応じて改造したもの。以前は新車も扱っていたが、7、8年前から今のスタイルにしたらしい。

経営者の井本一洋(51)さんはドゥカティの魅力を「独創的なデザイン」と「高速での安定した走り」という。しかし経営のリスクを負ってまで、70〜80年代にこだわったのはそればかりではない。

「クセがあつて手がかかつて……完全な機械ではないという魅力がある。最近のは性能は優れているが、メカ的に面白くない。修理もほとんどが部品交換。僕は部品交換屋になりたくないからね」。

ドゥカティは乗り手をも選ぶ。「うちのバイクはなんとかして乗ってやろうという遊び心のある人に乗って欲しい」と井本さん。「若い人にはすぐにはこの良さはわからないでしょう。いろいろ経験してもらえればいい。ドゥカティの良さもインターネットだけでなく、ショップを訪れて直接感じて欲しい」と話す。



講師紹介  
 記事・写真担当  
**西村 浩一 (45)**



講師紹介  
 レイアウト・デザイン担当  
**わたなべゆうじ (50)**

「コミュニティペーパーの講座を思い浮かべたのは、十年前、毎日新聞の記者として阪神大震災取材した体験からだ。避難所に張った壁紙が、そのうちニュースレターになり、互いに情報を共有することからコミュニティが復活した。毎日文化センター広島島の周りをみると、文化センターという器はある、じぞう通りという素材もある、なのに街全体の活気は少し足りない。」

## 情報誌で街に活気を

「コミュニティペーパーを作れば街が活性化するのは？」。社会部、学芸部を通じた約二十年間の記者としてのキャリアを活かし、コミュニティペーパー作りを講座として成立させられないか。「他にはないおもしろい講座でしょ」とアイデアに自信を見せるが「なかなか集客には結びつかない」のが目下のところ悩みのタネだ。昨年10月、毎日文化センター広島館長として家族とともに広島へ。

「ウサギの耳とハトの夢(共著)など。毎日新聞大阪本社代表室勤務。都市出身。(長島裕子)

「コミュニティペーパーが形になるのが仕事。本音を聞き出すところから始まるが、仕事の善し悪しはクライアントのメッセージを表現できたかどうか。日ごろからさまざまなものに興味

18年前広島市の橋本町に事務所を立ち上げた。8年前富士見町に、広島デザイナー協会の設立に携わり、地元意識を大切にデザインをベースに主にロゴ、エディトリアル、広告制作に携わる。「デザイナーはクライアント

を持つ。サッカー、野球、ヒストリックカー、モーターボート、バイク、犬のトレーニング、などなど。5年前に始めた合気道も、今では一段に。「楽しみながら作る」と、注目されるペーパーを作るコツを教えます。広島市生まれ。日本グラフィックデザイナー協会会員(JAGDA)、広島デザイナー協会会員(HDS)。JAGDA平和ボスター展、国民文化祭のボスター、ねりんピックのファッションショー会場の空間アート・ディスプレイなど作品多数。(生信聖子)

### Shop.02



カウンター席。手前にあるのがオリジナルの赤ワイン。ラベルは様々なイラストが...

# 自慢、店特製独ワイン

リングを使った「BANZAIオリジナル」(白、フルボトル2980円、グラス550円)。ドイツの農家と契約し、00年から年1200本を輸入している。農家の方も7年前来店したという。表ラベルには「Abfüllung [ur-BANZAI]」ばんざいのために生産者元詰」と書かれ、信頼の証な

「とりあえずビール」と言われる方には「とりあえずではない。本場ドイツビールも紹介しよう。ライツクネヒトビア(黒、980円)、マイセルズヴァイス(白、930円)、ピットブルガーベルス(ピルスナー、580円)。人気の食べ物、ドイツソーセージ、ハム盛り合わせ1280円、中華風とうふサラダ680円その他魚やオムレツ、パスタなど100種類以上が楽しめる。コースの注文は3人様、2800円からOK。1000円プラスで120

居酒屋  
**ばんざい**  
 広島市中区富士見町4-20  
 電話082-245-3403  
 定休日  
 毎週日曜日と土曜・祝日のランチタイム  
 但し団体予約の場合は営業  
 営業時間  
 ランチタイム11:30~13:30  
 居酒屋17:00~23:00  
 (金・土・祝前日は24時まで営業)



入口で店長の中本さん

ワイン瓶がずらりと並んだ店内。コルクで作った仔犬の箸置きがかわいくお客様を迎えてくれる。15種類のドイツワインがこの店のウリである。

「とりあえずビール」と言われる方には「とりあえずではない。本場ドイツビールも紹介しよう。ライツクネヒトビア(黒、980円)、マイセルズヴァイス(白、930円)、ピットブルガーベルス(ピルスナー、580円)。人気の食べ物、ドイツソーセージ、ハム盛り合わせ1280円、中華風とうふサラダ680円その他魚やオムレツ、パスタなど100種類以上が楽しめる。コースの注文は3人様、2800円からOK。1000円プラスで120

分間の飲み放題あり。ワインパーティーやお誕生日会、クラス会、結婚式の2次会など希望に合わせてコーディネートしてくれる。昼のランチは日替りで650円。(生信聖子)